

■会議結果報告書■

会議名称	第10回札幌市子どもの権利委員会
日時・会場	平成22年9月28日（火）16：30～17：30 市役所18階第一常任委員会会議室
出席委員	8人出席
次回開催	未定（12月頃を予定）

議題	概要等
1. 議題 答申案について	<p>○資料4に基づき事務局から前回の答申案からの修正点を説明</p> <p>Ⅱ現状と課題：了解</p> <p>Ⅲ基本理念及び基本目標：了承</p> <p>Ⅳ基本施策 基本目標1：了承</p> <p>基本目標2</p> <ul style="list-style-type: none"> ・資料3 21ページの「子どもが安心して過ごすことができる学校・施設づくり」について、いじめの早期発見・早期対応とあり、いじめが起こってからでの対処も大事だが、未然防止という言葉も入れてもらいたい。 <p>基本目標3：了承</p> <p>基本目標4：了承</p> <p>Ⅴ計画の推進に当たって</p> <ul style="list-style-type: none"> ・他都市では施策の担当課や具体的な施策の方針や検証・評価の実施などについて盛り込まれているが、札幌市ではどのように考えているのか。（事務局：計画をつくる段階では、具体的な施策等を掲載する。） <p>はじめに</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「あるべき社会」という部分について具体的に示した方がよいのではないか。また、「子どもにやさしいまち」という文言について「子どもにやさしい社会」や「子どもの最善の利益の実現を目指す社会」という表現でもよいのではないか。 ・最後の段落について、「我々は」や「この委員会は」といった主語を入れた方がよいのではないか。 ・主語を入れなくても十分に伝わるので、このままでよいのではないか。「あるべき社会」については、説明が難しいこともあり、このままでよいのではないか。 ・「あるべき社会」が何かを規定してしまうと、少し強制的になるので、市民一人ひとりが考えてほしいという呼びかけのため、このままでよい。 ・行政が市民とともに何かをつくるという社会ではなく、我々一人ひとりがそこに向かって進んでいくものであり、あえて「行政」という言葉をつけることには抵抗があり、「我々は」「委員会が」と入れなくても、十分伝わっている。 ・5段落目に「学校・施設」となっているが、機能的に違う面があるので、中黒点で結ばない方がよい。 <p>→「はじめに」は「学校、施設」と修正し、その他の部分は当初案のままで了承</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全体を通した最終的な精査は事務局にお願いしたい。
2. その他	<p>○答申書手交式について（事務局）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・10/18（月）13時30分から本庁舎10階市長会議室で開催する予定である。後日調整を行うので、可能な方は出席いただきたい。 <p>○答申書概要版について（事務局）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事務局から説明：了承 <p>○今後の日程について（事務局）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・11月をめぐりに札幌市としての素案を作成し、12月から1月にかけて市民意見を募集し、最終的に年度内に計画を策定する予定となっている。 ・素案と計画作成の段階で、権利委員会で議論をしていただく予定である。 ・再度子どもとの意見交換を行う。改めて連絡するので、協力をお願いしたい。 ・来年度以降については、条例の施行状況について取組の報告や、例えば「子どもの参加」といったテーマを設けて、検証するといったことも考えているため、次回以降議論していただきたい。 <p style="text-align: right;">以上</p>